

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和7年9月24日
17時49分39秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価

所属 0005756010 スポーツ課施設管理係

事務事業 02557 スポーツセンター施設管理事業

電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	002 ちから			
分野別	006 10スポーツ			
施策の取組	003 スポーツ施設環境の整備			
事務事業	001 スポーツセンター施設管理事業			
事業期間	平成13年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等	スポーツ基本法、安城市体育施設の設置及び管理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	市民（利用者）が
目的	気軽に安心して施設の利用をすることができるようになります。
手段	市民が気軽にスポーツを楽しむことができる施設として、施設の適切な管理運営を行います。
事務内容	施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等

【コスト】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	210,457	237,307	271,875
事業費	201,217	227,927	262,075
国庫支出金	0	76	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	41,406	43,807	40,165
一般財源	159,811	184,044	221,910
人件費計	9,240	9,380	9,800
正規（人）	1.40	1.40	1.40
その他経費	0	0	0

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
【事務事業活動実績】	スポーツセンターの管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等）	スポーツセンターの管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等）	スポーツセンターの管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等）

事務事業評価シート（2/2）

2頁
令和7年9月24日
17時49分39秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756010 スポーツ課施設管理係
事務事業 02557 スポーツセンター施設管理事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値				
指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
施設利用者数	人	165,000.00 151,321.00	0.00 159,167.00	165,000.00 0.00

【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ
1	国・県・民間等がサービスを行っていない	国・県・民間等との補完性	必要性
	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
1	市民ニーズは充分にある	市民ニーズの有無	必要性
	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
	市民ニーズはない又は不明である		
2	利用者も多く、市民ニーズは高い施設です	目標に対する進捗状況	有効性
	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		
	目標を下回る進捗状況である		
1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	事業の効率化・事業費の削減	効率性
	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
1	窓口業務等を委託することで効率的な管理を行っている	事業規模・サービス水準	公平性
	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		
	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
1	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
	サービス水準は他の自治体と比較して問題ありません		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	令和6年度はアリーナの熱中症対策として、スポットクーラーや扇風機などで対応を行っていますが、大会開催数の減少や参加者の減による規模の縮小などがみられ、利用者は目標を少し下回りました。 今後も、夏場の熱中症市民の皆さまが安心、安全に利用できるよう、施設管理を行っていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和 7年 9月24日
17時49分39秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価

所属 0005756010 スポーツ課施設管理係

事務事業 02559 レジャーポール施設管理事業

電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	002 ちから			
分野別	006 10スポーツ			
施策の取組	003 スポーツ施設環境の整備			
事務事業	002 レジャーポール施設管理事業			
事業期間	平成11年度 ~			
実施方法	全部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等	スポーツ基本法、安城市体育施設の設置及び管理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	市民（利用者）が
目的	気軽に安心して施設の利用をすることができるようになります。
手段	市民が気軽にスポーツを楽しむことができる施設として、適切な施設の管理運営を行います。
事務内容	適正な施設の運営管理のための指定管理者へのモニタリング、施設設備の修繕等

【コスト】

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	135,507	108,197	107,451
事業費	130,227	102,837	101,851
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	514	461	0
一般財源	129,713	102,376	101,851
人件費計	5,280	5,360	5,600
正規（人）	0.80	0.80	0.80
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	レジャーポールの管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等）	レジャーポールの管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等）	レジャーポールの管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等）

事務事業評価シート（2/2）

4 頁
令和 7 年 9 月 24 日
17 時 49 分 39 秒

評価年度 令和 6 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005756010 スポーツ課施設管理係
事務事業 02559 レジャーポール施設管理事業

【定量評価】

指標名	単位	令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	
		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
施設利用者数	人	220,000.00 247,624.00	0.00 253,042.00	240,000.00 0.00			

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準			ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		1
		2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
		3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
理由	市内にはレジャーポールと同様の施設はありません				
2 必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
		2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
		3	市民ニーズはない又は不明である		
理由	利用も多くあり、市民ニーズはあります				
3 有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		1
		2	目標を下回る進捗状況である		
		3	進捗はかなり遅れている		
理由	イベントや教室の開催により、多くの利用者がありました				
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		1
		2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
		3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
理由	指定管理者制度を利用し、効率的な管理を行っています				
5 公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
		2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
		3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
理由	サービス水準は他の自治体と比較して問題ありません				

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	令和 6 年度は漏水や機器の故障が多く発生し、修繕対応が必要となりましたが、指定管理者と連携を行い、営業停止は最小限で対応することができました。 指定管理者によるイベントや教室も好評だったことから、利用者は目標を上回りました。 今後も、市民の皆さまが安心、安全に利用できるよう、施設管理を行っていきます。
2 次コメント (400 文字)	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

5頁
令和7年9月24日
17時49分39秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価

所属 0005756010 スポーツ課施設管理係

事務事業 02561 屋外体育施設管理事業

電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	002 ちから			
分野別	006 10スポーツ			
施策の取組	003 スポーツ施設環境の整備			
事務事業	003 屋外体育施設管理事業			
事業期間	昭和41年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等	スポーツ基本法、安城市体育施設の設置及び管理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	市民（利用者）が
目的	気軽に安心して屋外体育施設の利用をすることができるようになります。
手段	市民が気軽にスポーツを楽しむことができる施設として、施設の適切な管理運営を行います。
事務内容	施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕・改修等

【コスト】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	461,073	356,730	1,210,728
事業費	447,873	343,330	1,196,728
国庫支出金	0	0	200,000
県支出金	0	0	200,000
地方債	202,000	125,000	90,000
その他	46,612	46,982	32,049
一般財源	199,261	171,348	674,679
人件費計	13,200	13,400	14,000
正規（人）	2.00	2.00	2.00
その他経費	0	0	0

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
【事務事業活動実績】	屋外体育施設の管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等） 野球場夜間照明改修工事、総合運動公園屋外トイレ改修工事	屋外体育施設の管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等） 多目的グラウンド夜間照明改修工事、安城市テニスコート夜間照明改修工事	屋外体育施設の管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等） ソフトボール場A球場改修工事、総合運動公園園路等改修工事、陸上競技場第4種認定更新工事

事務事業評価シート（2/2）

6頁
令和7年9月24日
17時49分39秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756010 スポーツ課施設管理係
事務事業 02561 屋外体育施設管理事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値				
指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
施設利用者数	人	280,000.00 277,567.00	0.00 273,132.00	280,000.00 0.00

【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ		
2	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	国・県・民間等との補完性	必要性		
1	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	市民ニーズの有無	必要性		
2	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	目標に対する進捗状況	有効性		
2	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	事業の効率化・事業費の削減	効率性		
1	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	事業規模・サービス水準	公平性		
理由 改修工事などで休止があったため目標をやや下回りました					
理由 管理を委託するなどし、事務改善を行っています					
理由 サービス水準は他の自治体と比較して問題ありません					

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	令和6年度は雨天などの影響により、大会が中止となったり、改修工事により施設の利用を休止したため、施設利用者数は目標を下回りました。 多目的グラウンドとテニスコートの夜間照明をLED照明に改修を行ったことから、照度の改善や消費電力の削減が可能になりました。 今後も、市民の皆さまが安心、安全に利用できるよう、施設管理を行っていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

7 頁
令和 7 年 9 月 24 日
17 時 49 分 39 秒

評価年度 令和 6 年度 進捗区分 1 次評価

所属 0005756010 スポーツ課施設管理係

事務事業 02562 体育館施設管理事業

電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	002 ちから			
分野別	006 10スポーツ			
施策の取組	003 スポーツ施設環境の整備			
事務事業	004 体育館施設管理事業			
事業期間	昭和54年度 ~			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等	スポーツ基本法、安城市体育施設の設置及び管理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	市民（利用者）が
目的	気軽に安心して体育館施設の利用をすることができるようになります。
手段	市民が気軽にスポーツを楽しむことができる施設として、施設の適切な管理運営を行います。
事務内容	施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等

【コスト】

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	99,737	95,670	102,826
事業費	87,857	83,610	90,226
国庫支出金	0	173	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	29,134	26,012	24,205
一般財源	58,723	57,425	66,021
人件費計	11,880	12,060	12,600
正規（人）	1.80	1.80	1.80
その他経費	0	0	0

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
【事務事業活動実績】	体育館施設の管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等）	体育館施設の管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等）	体育館施設の管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等）

事務事業評価シート（2/2）

8頁
令和7年9月24日
17時49分39秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756010 スポーツ課施設管理係
事務事業 02562 体育館施設管理事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値				
指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
施設利用者数	人	185,000.00 216,317.00	0.00 179,011.00	185,000.00 0.00

【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ		
1	国・県・民間等がサービスを行っていない	国・県・民間等との補完性	必要性		
	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある				
	国・県・民間等が同様のサービスを行っている				
1	市民ニーズは充分にある	市民ニーズの有無	必要性		
	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している				
	市民ニーズはない又は不明である				
2	多くの利用があり、市民ニーズは高いです	目標に対する進捗状況	有効性		
	目標を上回る又は目標どおりの進捗である				
	目標を下回る進捗状況である				
2	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	事業の効率化・事業費の削減	効率性		
	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている				
	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない				
1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	事業規模・サービス水準	公平性		
	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。				
	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。				
理由 窓口業務を委託に出すなどし、効率的な業務を実施しています					
理由 サービス水準は他の自治体と比較して問題ありません					

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	令和6年度は大型イベントの開催がなかったことから、令和5年度より利用者が減少しました。 施設の利用回数については大きな変化はありません。 東洋アリーナ安城は市民のスポーツ拠点となる施設であることから、今後も市民の皆さまが安心、安全に利用できるよう、施設管理を行っていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和7年11月6日
16時57分59秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02563 地域スポーツ振興事業

電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	002 ちから			
分野別	006 10スポーツ			
施策の取組	002 「する」・「みる」・「おしえる」・「ささえる」スポーツの振興			
事務事業	005 地域スポーツ振興事業			
事業期間	昭和41年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略	ちから	マニフェスト		
根拠法令等	スポーツ推進委員に関する規則、小中・県立学校施設開放実施要綱 平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・地域スポーツ振興事業・歩け・ランニング運動事業・総合型地域スポーツクラブ育成事業 ・市民地域スポーツ交流会開催事業・学校施設スポーツ開放事業			
備考				

【事業分析】

対象	普段あまりスポーツをしない市民が
目的	スポーツをするきっかけとなります。
手段	地域におけるスポーツ振興を推進するため、スポーツ推進委員を各小学校区に配置し、だれでも気軽にスポーツに参加できる機会を増やし、世代を越えて交流することが出来るようにします。また、スポーツ推進委員を中心となり地域スポーツ行事の企画、運営を地域の関係団体と連携しながら実施します。
事務内容	歩け・ランニング運動の開催、ラジオ体操の推進、学校施設開放事業、部活動の地域移行に関する事務、スポーツ推進委員による交流事業等

【コスト】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト			
事業費	27,607	25,094	30,666
国庫支出金	14,407	15,714	20,866
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	4,092	5,297	6,082
一般財源	10,315	10,417	14,784
人件費計	13,200	9,380	9,800
正規(人)	2.00	1.40	1.40
その他経費	0	0	0

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツ振興事業 ・市民地域スポーツ交流会事業 ・学校施設開放 ・歩け・ランニング運動 ・ラジオ体操の推進等 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツ振興事業 ・市民地域スポーツ交流会事業 ・学校施設開放 ・歩け・ランニング運動 ・ラジオ体操の推進等 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツ振興事業 ・市民地域スポーツ交流会事業 ・学校施設開放 ・歩け・ランニング運動 ・ラジオ体操の推進等

事務事業評価シート（2/2）

2頁
令和7年11月6日
16時57分59秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02563 地域スポーツ振興事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値				
指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地域スポーツ振興事業 参加者	人	7,000.00 9,297.00	0.00 9,245.00	7,000.00 0.00
市民地域スポーツ交流 会参加者	人	2,000.00 1,814.00	0.00 1,701.00	2,000.00 0.00
学校施設スポーツ開放 利用者	千人	200.00 194.00	0.00 193.00	200.00 0.00
歩け・ランニング運動 参加者	人	7,500.00 5,503.00	0.00 4,768.00	5,000.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	スポーツを取り組むきっかけ作りとして市が実施する事業です。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	多くの方が地域で活動しています。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標値を下回るもの、目標値付近を推移しています。		
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事務手続きの改善に取り組んでいます。		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体においても実施している事業です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	「歩け・ランニング運動」では、天候不良の影響や高齢化に伴う参加団体の減少により、参加者数が減少しました。また、令和8年4月には休日の部活動が地域に展開されるため、中学生の受け皿となる団体への支援について引き続き検討する必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和 7年11月 6日
16時58分00秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価

所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係

事務事業 02564 スポーツ振興計画推進事業

電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	002 ちから			
分野別	006 10スポーツ			
施策の取組	002 「する」・「みる」・「おしえる」・「ささえる」スポーツの振興			
事務事業	004 スポーツ振興計画推進事業			
事業期間	昭和53年度 ~			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目
重点戦略	ちから	マニフェスト		
根拠法令等	スポーツ基本法			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業から名称変更しています。 ・スポーツ推進審議会運営事務			

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	教育委員会からの諮問に応じて、スポーツの推進に関する事項について調査審議し、その事項を建議する目的でスポーツ推進審議会を設置しています。

【コスト】

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	4,056	6,910	7,089
事業費	96	2,890	2,889
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	96	2,890	2,889
人件費計	3,960	4,020	4,200
正規(人)	0.60	0.60	0.60
その他経費	0	0	0

令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
・スポーツ推進審議会開催(2回)	・スポーツ推進審議会開催(2回) ・アンケート調査の実施	・スポーツ推進審議会開催(2回) ・生涯学習推進計画(生涯学習・スポーツ)の策定
【事務事業活動実績】		

事務事業評価シート（2/2）

4 頁
令和 7年11月 6日
16時58分00秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02564 スポーツ振興計画推進事業

【定量評価】

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度

【定性評価】

順位	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由		他自治体においても実施している事業です。	

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	「生涯学習推進計画（生涯学習・スポーツ）」を策定する上での基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。 アンケート結果及びワークショップの実施等を踏まえ、より実効性のある内容となるよう計画策定を進めてまいります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

5頁
令和7年11月6日
16時58分00秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価

所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係

事務事業 02565 野外センター開放事業

電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	002 ちから			
分野別	007 11生涯学習			
施策の取組	001 11生涯学習 その他			
事務事業	009 野外センター開放事業			
事業期間	昭和47年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略	ちから	マニフェスト		
根拠法令等	安城市野外センターの設置及び管理に関する条例、管理に関する規則			
備考				

【事業分析】

対象	市民が
目的	自然の中での体験活動を通して、自然の知識や重要性を学び、環境問題への認識を深めるきっかけとなります。
手段	安市の野外センターは、作手野外センターと茶臼山野外センターの2箇所あります。7月から9月まで小中学校が利用しない日を一般に開放し、市民が利用しています。
事務内容	野外センターの一般開放、ファミリーキャンプの実施。

【コスト】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	736	762	870
事業費	76	92	170
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	76	92	170
人件費計	660	670	700
正規(人)	0.10	0.10	0.10
その他経費	0	0	0

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
【事務事業活動実績】	・野外センターの一般開放 ・ファミリーキャンプの実施	・野外センターの一般開放 ・ファミリーキャンプの実施	・野外センターの一般開放 ・ファミリーキャンプの実施

事務事業評価シート（2/2）

6頁
令和7年11月6日
16時58分00秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02565 野外センター開放事業

【定量評価】

指標名		単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
野外センター利用者	人		900.00 601.00	0.00 680.00	400.00 0.00
ファミリーキャンプ参加者	人		25.00 33.00	0.00 27.00	25.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
2 理由	野外センターの有効活用として実施しています。		1
3 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	2
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
4 理由	野外センター利用者は増加しています。		2
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
5 理由	野外センター利用者は増加傾向にあります。		1
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
5 理由	事業手続きの改善に取り組んでいます。		1
公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	2
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	事業規模から他自治体と比較して適正と判断しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	縮小・統合
1次コメント (400文字)	茶臼山野外センターは、中学校の利用中止に伴い、令和7年度以降の一般開放を中止にしました。また、ファミリーキャンプについては、参加者数の増加を図るため、参加しやすい内容への見直しが必要です。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

7 頁
令和 7年11月 6日
16時58分00秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02566 スポーツ活動表彰・激励事業

電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	002 ちから			
分野別	006 10スポーツ			
施策の取組	002 「する」・「みる」・「おしえる」・「ささえる」スポーツの振興			
事務事業	003 スポーツ活動表彰・激励事業			
事業期間	平成14年度 ~			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略	ちから	マニフェスト		
根拠法令等	安城市スポーツ表彰選考要綱、安城市全国大会等激励金交付要綱			
備考				

【事業分析】

対象	各競技種目で活躍している市民の
目的	国際大会、全国大会等での活躍を激励し、スポーツ競技力向上を図ります。
手段	国際大会、全国大会等に代表選手として出場する市民の活躍を激励するため、全国大会等激励金交付要綱に基づき、激励金を交付します。また、選手や指導者の功績を称え、全国大会等で優秀な成績を残した選手や、スポーツの普及・発展に寄与した方を表彰します。
事務内容	激励金の交付、スポーツ表彰の実施。

【コスト】

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	(単位：千円)	
			令和 7年度 予算額	
トータルコスト				
事業費				
国庫支出金	4,998	5,545	6,022	
県支出金	1,698	2,195	2,522	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	1,698	2,195	2,522	
人件費計	3,300	3,350	3,500	
正規(人)	0.50	0.50	0.50	
その他経費	0	0	0	

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	・優秀選手等表彰 ・全国大会等出場者激励金交付	・優秀選手等表彰 ・全国大会等出場者激励金交付	・優秀選手等表彰 ・全国大会等出場者激励金交付

事務事業評価シート（2/2）

8頁
令和7年11月6日
16時58分00秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02566 スポーツ活動表彰・激励事業

【定量評価】

指標名		単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
優秀選手等表彰	件		100.00 93.00	0.00 83.00	100.00 0.00
全国大会等出場激励金交付	件		150.00 117.00	0.00 142.00	150.00 0.00

【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ
1	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	国・県・民間等との補完性	必要性
1	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	市民ニーズの有無	必要性
2	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	目標に対する進捗状況	有効性
2	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	事業の効率化・事業費の削減	効率性
1	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	事業規模・サービス水準	公平性
	他自治体においても実施している事業です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	優秀選手等表彰及び全国大会等出場激励金交付件数は、目標値を下回っているものの、増加傾向にあります。今後も制度を継続することにより、スポーツ競技の向上を図ります。 また、事務手続きの効率化を図るため、他自治体の調査研究を進めてまいります。
2次コメント (400文字)	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

9 頁
令和 7年11月 6日
16時58分00秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02567 ホームチームサポーター事業

電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	002 ちから			
分野別	006 10スポーツ			
施策の取組	004 スポーツ団体の支援・育成			
事務事業	001 ホームチームサポーター事業			
事業期間	平成27年度 ~			
実施方法	全部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略	ちから	マニフェスト		
根拠法令等				
備考				

【事業分析】

対象	スポーツに関心のある市民の方や、これまであまり関心のなかった市民が
目的	地元の企業トップチーム（デンソープライベガサス、アイシンウイニングス、GTRニッセイ）を知り、応援することにより、身近にスポーツに親しめるようにします。
手段	安城市をホームタウンとする全国レベルの企業チームを市民サポーターが応援することで、スポーツ活動のきっかけづくりや本市を全国へPRする機会の充実を図ります。また、技術指導会等を開催することで、ジュニア世代の競技力向上、技術向上につなげ次世代を担うトップアスリートの育成を図ります。
事務内容	安市のスポーツ選手と遊ぼう！（ホームチームによる保育園訪問）の実施、クリニック（技術指導会）・部活動支援の実施、JDLリーグ・Wリーグの開催支援 等

【コスト】

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト			
事業費			
国庫支出金	8,968	9,421	10,000
県支出金	2,368	2,721	3,000
地方債	1,184	1,361	1,500
その他	0	0	0
一般財源	0	0	0
人件費計	1,184	1,360	1,500
正規（人）	6,600	6,700	7,000
その他経費	1.00	1.00	1.00
	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none"> 選手が保育園等を訪問し交流を図る「安城市のスポーツ選手と遊ぼう！」の実施 クリニック（技術指導会）の実施 各種イベント等でのチームの認知度向上に向けた活動 等 	<ul style="list-style-type: none"> 選手が保育園等を訪問し交流を図る「安城市的スポーツ選手と遊ぼう！」の実施 クリニック（技術指導会）の実施 各種イベント等でのチームの認知度向上に向けた活動 等 	<ul style="list-style-type: none"> 選手が保育園等を訪問し交流を図る「安城市的スポーツ選手と遊ぼう！」の実施 クリニック（技術指導会）の実施 各種イベント等でのチームの認知度向上に向けた活動 等

事務事業評価シート（2/2）

10 頁
令和 7 年 11 月 6 日
16 時 58 分 00 秒

評価年度 令和 6 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02567 ホームチームサポーター事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値				
指標名	単位	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
ホームチームと交流した参加者	人	600.00 604.00	0.00 4,199.00	5,000.00 0.00

【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ		
1	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	国・県・民間等との補完性	必要性		
1	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	市民ニーズの有無	必要性		
1	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	目標に対する進捗状況	有効性		
2	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	事業の効率化・事業費の削減	効率性		
1	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	事業規模・サービス水準	公平性		
理由 ホームチームと交流した人数は増加しています。					
理由 関係課と連携して、チーム認知度向上に向けて取り組みました。					
理由 他自治体においても実施している事業です。					

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	令和 6 年度は、関係機関等との連携により、新たに「トップアスリートによる講話」や「Anjo みんなのスポーツフェスティバル」を開催するなど、交流人数を増加させることができました。 令和 7 年度は、関係課及び商業施設等との連携を図り、事業の効果をさらに高める必要があります。
2 次コメント (400 文字)	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

11頁
令和 7年11月 6日
16時58分00秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価

所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係

事務事業 02568 シティマラソン・市民駅伝大会事業

電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	002 ちから			
分野別	006 10スポーツ			
施策の取組	004 スポーツ団体の支援・育成			
事務事業	002 シティマラソン・市民駅伝大会事業			
事業期間	昭和42年度 ~			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略	ちから	マニフェスト		
根拠法令等				
備考				

【事業分析】

対象	スポーツに関心のある市民の方や、これまであまり関心のなかった市民が
目的	ランニングやジョギングに取り組むきっかけとなります。
手段	総合運動公園と市街地を走るシティマラソンと、デンパーク園内及び周辺道路を繋でつなぐ市民デンパーク駅伝大会の開催にあたり、実行委員会に補助金を支出して運営しています。
事務内容	安城シティマラソンの開催、市民デンパーク駅伝大会の開催

【コスト】

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	16,044	17,195	19,000
事業費	9,444	10,495	12,000
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	9,444	10,495	12,000
人件費計	6,600	6,700	7,000
正規(人)	1.00	1.00	1.00
その他経費	0	0	0

令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
・シティマラソン開催 (12/10) ・市民駅伝大会開催 (1/28)	・シティマラソン開催 (12/8) ・市民駅伝大会開催 (1/26)	・シティマラソン開催 (12/14予定) ・市民駅伝大会開催 (1/25予定)
【事務事業活動実績】		

事務事業評価シート（2/2）

12 頁
令和 7年11月 6日
16時58分00秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価

所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係

事務事業 02568 シティマラソン・市民駅伝大会事業

【定量評価】

上段：目標值 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
シティマラソン大会参加者	人	3,000.00 2,033.00	0.00 2,182.00	2,500.00 0.00
駅伝大会参加者	人	1,300.00 1,110.00	0.00 1,149.00	1,300.00 0.00

【定性評価】

【定位評価】		評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由		関係機関と連携して、実施する事業です。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由		多くの方が参加しています。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由		目標値を下回るもの、参加者数は増加傾向にあります。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由		大会運営の見直しに取り組みました。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由		他自治体においても実施している事業です。		

理由

【「次計画結果」	
事業の方向性	維持・継続
1次コメント (4 0 0 文字)	令和 5 年度のシティマラソンでは、コースの誘導ミスが発生したため、令和 6 年度はマニュアルの徹底やコース指示員等の配置変更等の対策を施したことにより、適切な大会運営を行うことができました。 令和 7 年度のシティマラソンでは、総合運動公園内の園路等の改修工事や周辺道路の整備工事が進められるため、コースが変更となります。各関係団体との十分な調整を図り、安全かつ円滑な大会運営に取り組む必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	
	評価未実施 本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント (400 文字)	

事務事業評価シート（1/2）

13頁
令和7年11月6日
16時58分00秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02569 競技スポーツ振興事業

電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	002 ちから			
分野別	006 10スポーツ			
施策の取組	002 「する」・「みる」・「おしえる」・「ささえる」スポーツの振興			
事務事業	001 競技スポーツ振興事業			
事業期間	昭和47年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略	ちから	マニフェスト		
根拠法令等	安城市スポーツ振興補助金交付要綱			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・スポーツ大会補助金管理事務 ・安城選手権大会事業 ・スポーツスクール（教室）開催事業 ・スポーツ観戦推進事業 ・スポーツ選手育成事業 ・スポーツ指導者育成事業 ・自主スポーツグループ育成事業			

【事業分析】

対象	競技スポーツに取り組む人、スポーツに関心のある市民が
目的	日頃の成果やスポーツのきっかけとなる機会の充実を図ります。
手段	安城選手権大会の開催やスポーツを始めるきっかけづくりとして、スポーツスクール・教室の開催等を行っています。
事務内容	安城選手権大会、スポーツスクール・教室及び大会補助等について、公益財団法人安城市スポーツ協会に委託。

【コスト】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト			
事業費	34,051	34,453	37,906
国庫支出金	30,751	31,103	34,406
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	3,640	3,894	3,500
一般財源	27,111	27,209	30,906
人件費計	3,300	3,350	3,500
正規（人）	0.50	0.50	0.50
その他経費	0	0	0

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
【事務事業活動実績】	・安城選手権大会開催（夏季、秋季、冬季大会） ・スポーツスクール・教室開催 ・スポーツ観戦推進事業 ・指導者講習会 ・補助金事業 等	・安城選手権大会開催（夏季、秋季、冬季大会） ・スポーツスクール・教室開催 ・スポーツ観戦推進事業 ・指導者講習会 ・補助金事業 等	・安城選手権大会開催（夏季、秋季、冬季大会） ・スポーツスクール・教室開催 ・スポーツ観戦推進事業 ・指導者講習会 ・補助金事業 等

事務事業評価シート（2/2）

14 頁
令和 7年11月 6日
16時58分00秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02569 競技スポーツ振興事業

【定量評価】

指標名		単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
安城選手権大会参加者	人		4,000.00 3,135.00	0.00 3,931.00	4,000.00 0.00
スポーツスクール・教室参加者	人		2,000.00 2,316.00	0.00 2,693.00	2,000.00 0.00
スポーツ観戦推進事業参加者	人		100.00 89.00	0.00 250.00	100.00 0.00

【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ
1	国・県・民間等がサービスを行っていない	国・県・民間等との補完性	必要性
	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
1	市民ニーズは充分にある	市民ニーズの有無	必要性
	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
	市民ニーズはない又は不明である		
2	多くの方が参加しています。	多くの方が参加しています。	理由
	目標に対する進捗状況		
	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		
2	目標を下回る進捗状況である	目標に対する進捗状況	有効性
	進捗はかなり遅れている		
	目標値を下回るもの、増加傾向にあります。		
2	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	事業の効率化・事業費の削減	効率性
	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	事業規模・サービス水準	公平性
	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
理由	他自治体においても実施している事業です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400 文字)	スポーツ振興を推進するために、市スポーツ協会と連携し、安心安全な競技会等を開催しました。また、令和 8 年度にはアジア競技大会が安城市で開催される予定であるため、市スポーツ協会と連携を図り、今後の事業展開について協議する必要があります。
2次コメント (400 文字)	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400 文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント (400 文字)	

事務事業評価シート（1/2）

15 頁
令和 7年11月 6日
16時58分00秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 03001 國際・全国大会推進活動事業

電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	002 ちから			
分野別	006 10スポーツ			
施策の取組	005 國際・全国大会開催に伴うスポーツの振興			
事務事業	001 國際・全国大会推進活動事業			
事業期間	平成30年度 ~			
実施方法	全部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略	ちから	マニフェスト		
根拠法令等	國際・全国大会推進活動実行委員会会則			
備考				

【事業分析】

対象	市民が
目的	スポーツの振興を通じて、スポーツに親しみ、関わるようになります。
手段	国際・全国大会の誘致・開催や、アジア競技大会等の開催機運を向上させることにより、「みる」スポーツの振興を図ります。また、スポーツツーリズムを通じ、市外の方へ安城市の魅力を発信します。
事務内容	プロレスイベントの開催、全日本大学女子ソフトボール選手権大会の開催、J Dリーグ（ソフトボール）、Wリーグ（バスケットボール）の開催、アジア競技大会啓発及び機運醸成等

【コスト】

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	17,632	14,217	15,125
事業費	9,052	9,527	10,225
国庫支出金	2,000	2,500	2,500
県支出金	0	0	1,000
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	7,052	7,027	6,725
人件費計	8,580	4,690	4,900
正規（人）	1.30	0.70	0.70
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none"> 全日本大学女子ソフトボール選手権大会開催 J Dリーグ（ソフトボール） Wリーグ（バスケットボール） オカダ・カズチカ氏プロレスイベント開催等 	<ul style="list-style-type: none"> 全日本大学女子ソフトボール選手権大会開催 J Dリーグ（ソフトボール） Wリーグ（バスケットボール） アジア競技大会啓発等 	<ul style="list-style-type: none"> 全日本大学女子ソフトボール選手権大会開催 J Dリーグ（ソフトボール） Wリーグ（バスケットボール） アジア競技大会啓発等

事務事業評価シート（2/2）

16頁
令和7年11月6日
16時58分00秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 03001 國際・全国大会推進活動事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値				
指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
全国大会等の観客数	人	17,000.00 20,416.00	0.00 16,897.00	17,000.00 0.00

【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ
1	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	国・県・民間等との補完性	必要性
1	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	市民ニーズの有無	必要性
2	目標値には達していないものの、多くの観客数を記録しています。	目標に対する進捗状況	有効性
2	天候不良の影響により、観客数が減少しました。	事業の効率化・事業費の削減	効率性
1	事業手法を検討しながら、取り組んでいます。	事業規模・サービス水準	公平性
	事業を見直しながら、事業を実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	令和6年度は、天候不良の影響により、全日本大学女子ソフトボール選手権大会の観客数が減少しましたが、J Dリーグ（ソフトボール）やWリーグ（バスケットボール）においては関係機関と連携を図ることで観客数を増 加することができました。また、イベント出展や小学校への出張授業を通して2026年に開催するアジア競技 大会を広く周知することができました。 令和7年度は、全日本大学女子ソフトボール選手権大会が記念すべき第60回大会となります。この大会が選手 の気持ちを奮い立たせるような記念大会にふさわしいものとなるよう、開会式の充実を図ることや、各地区の厳 しい予選を勝ち抜いた32チームによるハイレベルな試合を多くの市民に観戦していただけるよう検討する必要 があります。また、アジア競技大会1年前を契機に更なる機運醸成を図る必要があります。
2次コメント (400文字)	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

17 頁
令和 7年11月 6日
16時58分00秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価

所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係

事務事業 03497 シーホース三河応援事業

電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	002 ちから			
分野別	006 10スポーツ			
施策の取組	004 スポーツ団体の支援・育成			
事務事業	004 シーホース三河応援事業			
事業期間	令和 6年度 ~			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略	ちから	マニフェスト		
根拠法令等				
備考				

【事業分析】

対象	市民が
目的	プロバスケットボールチーム「シーホース三河」を知り、応援することにより、市を挙げて応援する環境を構築します。
手段	市と「シーホース三河」が連携を図り、市民との交流等に取り組みます。
事務内容	「シーホース三河」を紹介するとともに、「みる」スポーツの機会を創出します。また、技術指導会等を開催することで、ジュニア世代の競技力向上を図ります。

【コスト】

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	0	1,340	4,400
事業費	0	0	3,000
国庫支出金	0	0	1,500
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	0	1,500
人件費計	0	1,340	1,400
正規(人)	0.00	0.20	0.20
その他経費	0	0	0

令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	・実行委員会の立ち上げ調整	・シーホース三河による公開練習会の開催 ・技術指導会の開催 ・「みる」スポーツの機会の創出
【事務事業活動実績】		

事務事業評価シート（2/2）

18頁
令和7年11月6日
16時58分00秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 03497 シーホース三河応援事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値				
指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実施事業の参加者数	人	0.00 0.00	0.00 0.00	750.00 0.00

【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ
1	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	国・県・民間等との補完性	必要性
	2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
	3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
1	市と「シーホース三河」が連携を図り、実施する事業です。	市民ニーズの有無	必要性
	1 市民ニーズは充分にある		
	2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
1	3 市民ニーズはない又は不明である		
	理由	事業を展開した場合、多くの参加者数が見込まれます。	
	3	目標に対する進捗状況	有効性
2	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である		
	2 目標を下回る進捗状況である		
	3 進捗はかなり遅れている		
3	理由	関係者と調整をしましたが、実行委員会を設立できませんでした。	
	2	事業の効率化・事業費の削減	効率性
	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		
2	2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
	3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
	理由	効果的な事業が展開できるよう取り組んでいます。	
1	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	事業規模・サービス水準	公平性
	2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
	3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
1	理由	他自治体と比較しても適正です。	

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	令和6年度においては、実行委員会の立ち上げに向けて「シーホース三河」等の関係者との調整を行いましたが、三河安城交流拠点・アリーナの完成時期が令和10年3月頃に延びたことから、実行委員会の設立には至りませんでした。 今後は、地域全体で「シーホース三河」を応援し、市民と選手との絆を深め、市への愛着を醸成するために、更なる連携を図りながら取り組んでまいります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。